

## 「大月市新庁舎整備基本計画（案）に対する意見募集結果について」

大月市新庁舎整備基本計画（案）に対するご意見と市の考え方を、以下のとおりまとめましたので公表します。  
貴重なご意見をお寄せ頂き、誠にありがとうございました。頂いたご意見は、今後の基本設計検討の際に参考とさせていただきます。

意見提出期間：令和6年2月7日（水）～令和6年3月1日（金）	意見等の提出件数：4件（個人、団体含む）
結果公表日：令和6年3月22日（金）	意見等の提出方法：メール2件、持参2件

※ 本表の意見内容は、ご提出頂いた意見の文言を修正・補完したうえで、その内容によって細分化し、分類して掲載しています。

No	意見分類	意見内容	市の考え
1	1. 新庁舎の必要性	<p>過日、鳥沢から猿橋まで夜間に歩く機会がありました。所々というよりかなりの区間に街灯がなく車の灯りを頼りに狭い歩道を歩きました。路側からでた草に服を擦りつけ家に着いたら上着が草だらけでした。これと同様の事が猿橋駅南の道路も同様です。この様な環境ではお子さんが大月市にとどまろうとは思えません。事実会社の先輩が実家は大月にあるにもかかわらず八王子に出てしまっています。理由を聞くと学校が多数閉校し、車がないと生活できない。妻が免許を持っていないので八王子のがはるかに生活が楽です。と、仰っています。今は車社会だから。という意見もあろうと思いますが12歳や15歳では免許を取れませんし親がいなければ歩くしかありません。市役所の建替えより優先することがあるのではないですか。</p>	<p>現庁舎につきましては、施設・設備の老朽化やバリアフリー・プライバシーの確保、高度情報化への対応などの様々な現状の課題に加えて、最も懸念されるのは耐震性能が不足し、有事に果たすべき役割を果たせないことにあります。本市では、平成12年に実施した耐震診断以降、本庁舎本館の危険性や建替えの必要性を認識しながら、子育て環境や医療提供体制の充実を重視し、小中学校施設や大月市立中央病院の耐震化、小中学校への空調設備導入やスクールバス等の充実、市内幼稚園・保育園の再編整備事業など、財政状況や将来負担を考慮し、優先順位を定めて順次整備してまいりました。一方で、本庁舎本館の耐震性能の確保につきましては、耐震改修促進法の基本方針に基づく山梨県耐震改修促進計画において早期に耐震化に取り組むべき施設として位置づけられ、先般の能登半島地震が起こったように、大震災の発生が懸念される中、安全安心な庁舎機能の確保は急務となっており、特に防災拠点を担う市役所庁舎は、早急に耐震性能を確保しなければならぬと考えております。このような状況から、災害時の迅速な初動体制をはじめとする機動性や効率性の確保、市民の安全安心と市民サービスの向上等を実現し、併せて将来の世代に安全・安心、持続可能な新庁舎を残すため、新庁舎整備の進捗を早急に図る必要があると考えております。</p>
2	2. 新庁舎の機能	<p>基本計画案の防災拠点機能の中にも、被災市民の受入空間、設備の確保とありますが、ぜひとも災害時での対応を十分に検討して拠点機能の充実を図ってください。</p>	<p>防災拠点となる新庁舎の防災機能につきましては、市民交流スペースと一時避難スペースを兼ねるなど、有事の際に十分な力を発揮できるよう利便性やコストバランスを踏まえ、今後の基本設計で具体的に検討してまいります。</p>
3	3. 施設計画	<p>新庁舎として活用可能な空いている公共施設がたくさんあるではないか 市民も現状を説明すれば納得してくれると思います。</p>	<p>市役所庁舎は、大月市立地適正化計画に基づく、都市機能誘導区域内に配置することなどを前提として、昨年度の基本構想において建設候補地を3箇所に絞り込みました。市内の他の公共施設の活用も比較検討した上で、建設地を選定しましたので、ご理解をお願いします。なお、都市機能誘導区域内の公共施設には、庁舎の移転が可能な規模の空きスペースはありませんでした。</p>
4	3. 施設計画	<p>防災（災害対応）の観点からの意見を述べたいと思います。 来客者用駐車場（国道20号側）の半分（新庁舎側）を屋根付きの全天候型駐車場にすることを提案します。 ・高齢者、障害者、車椅子利用者、妊婦、子連れ利用者等が天候に左右されず利用できること（平常時での市庁舎の利用でも必要な条件） ・災害時の一時避難場所、災害対応スペースとしての利用</p>	<p>駐車場等の付帯設備につきましては、利便性やコストバランスを踏まえ、今後の基本設計で検討することになりますので、頂いたご意見はその際の参考とさせていただきます。</p>
5	3. 施設計画	<p>動線計画について ・車両動線は計画通りで良いと思いますが、西側から庁舎に入る歩行者動線とクロスしているため車両及び歩行者の動線上の危険性が発生する恐れがあると考えます。</p>	<p>車両及び歩行者動線につきましては、ドライバーからの歩行者等の視認性や駐車場整備台数の確保などの安全性・利便性を考慮し、今後の基本設計においてより良い動線計画を引き続き検討してまいります。</p>

No	意見分類	意見内容	市の考え
6	3.施設計画	新庁舎の空調について ・災害時は一時的にも多くの被災市民を受け入れる事が想定されます。能登地震でも避難所での感染症の発症が問題視されています。どのような空調設備を考えているかわかりませんが、室内循環型ではなく、庁舎内の汚れた空気を外に排出して外気等の新鮮な空気を取り入れる方式を考えてください。	感染症対策などの観点から換気システムの計画は重要と捉えております。新庁舎の空調設備につきましては、利便性やコストバランスを踏まえ、今後の基本設計で検討することになりますので、頂いたご意見はその際の参考とさせていただきます。
7	3.施設計画	火災延焼対策について ・新庁舎近隣で火災が発生した場合の延焼対策ですが、とりわけ庁舎東側は道路（幅員5m）を挟んで民家が近接しています。防災拠点として何らかの対応が必要ではないでしょうか。	新庁舎は、本市の災害対策本部機能を有する重要な施設となることから、火災発生時の初期消火対策に加え、準耐火構造以上の耐火性能を目標とし、防耐火性能の高い建物とすることで延焼の対策としています。防災拠点となる新庁舎の耐火構造につきましては、防災性やコストバランスを踏まえ、今後の基本設計で具体的に検討してまいります。
8	3.施設計画	飲料水兼耐震性貯水槽設置を提案します ・震災等でライフラインの被害は市民生活に極めて大きな影響をもたらします。飲料水の確保は重要です。提案している貯水槽は災害が発生した時に市民の命を生活を守る飲料水ならびに消火用水として使用でき、常時は水道水として常に循環させて清浄な状態で蓄えておく水槽です。	先般の能登半島地震においても飲料水の確保をはじめ、様々なライフラインの確保・復旧が課題となっています。これらの災害等を想定した設備の計画につきましては、利便性やコストバランスを踏まえ、今後の基本設計で検討することになりますので、頂いたご意見はその際の参考とさせていただきます。
9	3.施設計画	能登地震でのニュース「News Everyday」の記事を掲載します。 ○免震化で損傷なし 耐震化で損傷 5日は、震度6強を観測した七尾市の恵寿総合病院を訪ねた。入院患者の転院を余儀なくされた病院であったが、ここでは、地下の揺れを吸収するゴムを設置した免震構造の本館に損傷がなく、医療の提供を継続できた。隣の棟は多くの損傷が目に入り、差は歴然だった。神野正博理事長によると、他の病棟は耐震化はしていたが、天井がはがれ、物も散乱したため入院患者を本館に移した。同病院では、本館の新築を検討していた11年に東日本大震災があり、免震化を決断した。この地震でも棚の上の物すら落ちなかったという。神野理事長は「免震化して良かったと心から思うが、高額なため病院が自力で進めるのは相当難しい」と話す。 耐震化では揺れを免れることはなく、福和さんは「揺れて設備が壊れたら診療はできない。病院は揺れない建物にすることが重要」と訴える。 愛知県によると、県内の病院の免震化率は14%。国は免震化に特化した補助制度を設けては無いが、福和さんは「甚大な被害が想定される南海トラフ地震に備え、免震化への補助を用意すべきだ」と提言する。  免震化の効果は一目瞭然です。 そして、大月市新庁舎整備基本計画（案）によると、基本方針に、「市民の安全・安心を守る災害に強い庁舎」→多様化する災害においても安全性が確保され、防災機能の充実・強化及び業務継続機能を発揮できる庁舎とあります。 また、庁舎機能の整備における導入施設・設備や運用等の方向性には （４）防災拠点機能 ①市民の安全を守るための災害対策機能の集約 ②災害時の業務継続可能な設備の設置 ③被災市民の受入空間・設備の確保 と書かれてあります。 以上の機能を求め新庁舎建設を進めるのであれば、免震構造の導入を計画すべきです。	新庁舎の耐震構造方式につきましては、鉄筋コンクリート造や鉄骨造、木造など主要構造が決定されてからの検討となり、構造によっては優位性や有効性などのメリットが僅少になります。 耐震構造の適用につきましては、基本設計時に庁舎の主要構造を踏まえ、建設コストや適合性を検討したうえで、最適な方式を決定してまいりますので、頂いたご意見はその際の参考とさせていただきます。 なお、新庁舎は耐震安全性の目標設定は最高レベルのⅠ類としており、これにつきましては、どの主要構造、耐震構造方式でも実現可能です。

No	意見分類	意見内容	市の考え
10	4. 事業計画	市役所の建替えに補助金が出るのですか。 お金がなく借金で建てた場合に返済するあてはありますか。	補助金につきましては、庁舎整備そのものを対象とする直接の補助制度はありませんが、環境に配慮した設備や内外装等の木質化など、整備内容に応じた補助制度がありますので、活用を検討していきたいと考えております。また、財源計画は、財政見通しを立てながら計画を検討しておりますが、庁舎建設時に多額の費用を要することから、借入れと併せて貯金にあたる基金を活用しながら、将来の市民サービスに影響しないよう資金計画を検討するとともに、今後の基本設計を通じて事業費の圧縮にも努めてまいります。なお、借入れにあたっては、防災対策や木造建築など、整備内容に応じて返済額の一部を交付税として措置される有利な地方債の活用を検討してまいります。
11	4. 事業計画	P37 整備費について 市財政がきびしい中、34億円債務をどの様にして作り出すのか。 また市民が2万人を割ろうとする時財政の見通しがたつのか。市として成り立たなくなるのではないのか。	現状における本市の財政状況や今後の人口減少を考慮すると、後世に過度な負担を残す新庁舎整備とすることは避けなければなりません。このため、既存の別館や花咲庁舎を有効に活用し、新庁舎の床面積を抑え、庁舎規模についても将来の変化に対応できる計画としております。また、本基本計画で示した34億円の整備費は、あくまでも現時点の概算になりますので、今後の基本設計を通じて事業費の圧縮に努めてまいります。なお、財源計画は、財政見通しを立てながら計画を検討しておりますが、各種基金やZEB化、木質化などの整備内容に応じた補助金、交付税措置が見込まれる有利な地方債などを活用するほか、寄付金や整備後に見込まれる財産収入などを含めて幅広く検討し、将来の市民サービスに影響のないよう財政負担の縮減と平準化に努めてまいります。
12	5. その他	今の人口の減少をどう抑制するお考えですか。	人口減少の抑制につきましては、大月市全体の課題として、総合計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、多方面から対策を講じているところですが、今後も継続して取り組んでまいります。庁舎整備に関連しましては、将来的な人口減少や職員数に応じて段階的に規模を縮小できるような方針としています。
13	5. その他	私の家の回りは通学路が多いにもかかわらず真っ暗な場所があります。そこへ市議を通じ街灯の設置をお願いしたところ、お金がないので付けられない。灯具は支給する。とのことであった。こんなにお金がない市が市役所ですか。	街灯の設置及び管理に関しましては、街路灯、防犯灯などの管理主体に応じて役割分担をしながら整備や維持管理を行っております。市が管理する街路灯は、新設の市道に増設している状況で、通学路においては通学路点検を通じて教育委員会及び学校と協議のうえ、対応を検討することとしております。また、地区が管理する防犯灯は、増設または改修の補助としてLED灯具を原材料支給しており、その後の維持管理は地区において担っていただいている状況ですので、ご理解をお願いします。